

●富岡製糸場 観光客で人気

ユネスコから世界遺産登録の勧告を受けた、群馬県の富岡製糸場には多くの観光客が訪れている。富岡製糸場は明治5年、日本最初の官営製糸工場として建設された。殖産興業を目指す明治政府による国家的プロジェクトであった。その生糸は外貨を稼ぐ輸出品として、日本の近代化を支えた。

●韓国政府へ批判 強まる

韓国(大韓民国)で旅客船が沈没した事件で、韓国政府の対応に対してパク・クネ大統領が謝罪した。しかし、その後の世論調査ではパク・クネ大統領の謝罪に対する批判が高く、韓国大統領府のホームページには大統領を批判する文章が書き込まれ、アクセスが殺到した。



●警察官舎爆発事件 女を逮捕

4月に北海道札幌市の警察官舎でカセットコンロ用のボンベが爆発する事件があった。警察は、札幌市北区に住む名須川早苗容疑者を逮捕した。札幌市北区では、今年1月以降、警察官舎やホームセンターなどでボンベ爆発などの事件が5件相次いでいる。警察は一連の事件との関連を捜査している。



●高度下がりにすぎ 国が調査

格安航空会社ピーチ・アビエーションの旅客機が、那覇空港に着陸する際、高度が異常に下がったことを知らせる警報装置が作動した。旅客機はすぐに高度を上げ、着陸をやり直したため、乗員乗客にけがはなかった。国の運輸安全委員会は、事故につながりかねない「重大インシデント」として、経緯や原因を調べている。



●強制起訴の元指導者 有罪判決

平成20年、長野県松本市で行われた柔道教室で、指導者が当時小学6年生の男子児童に投げ技をかけて重い障害が残るけがを負わせた。指導者は検察で嫌疑不十分を理由に不起訴になった後、検察協議会で強制起訴されていた。先月30日長野地方裁判所は、元指導者に有罪判決を下した。検察が嫌疑不十分を理由に不起訴にした事件で有罪判決は初めてである。